

令和2年度第8回ヨコハマeアンケート

技能職振興に関するアンケート

実施期間 令和2年9月4日（金）から9月18日（金）

事業所管課 経済局 雇用労働課

年代別・性別のメンバー数／構成比

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	計
男性	14 (0.4%)	50 (1.6%)	197 (6.2%)	402 (12.7%)	370 (11.7%)	391 (12.3%)	243 (7.7%)	1 (0.0%)	1,668 (52.5%)
女性	10 (0.3%)	93 (2.9%)	447 (14.1%)	479 (15.1%)	316 (10.0%)	113 (3.6%)	39 (1.2%)	0 (0.0%)	1,497 (47.1%)
不明	0 (0.0%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.1%)	3 (0.1%)	3 (0.1%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (0.3%)
計	24 (0.8%)	144 (4.5%)	644 (20.3%)	883 (27.8%)	689 (21.7%)	507 (16.0%)	283 (8.9%)	1 (0.0%)	3,175 (100.0%)

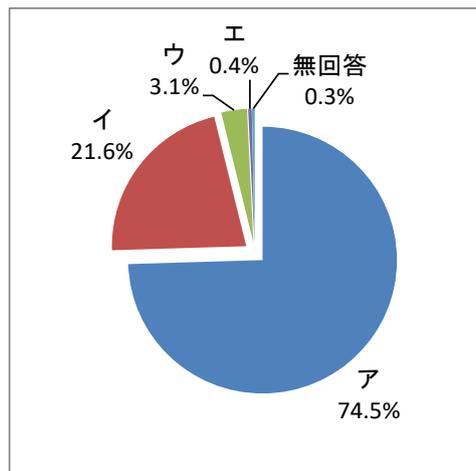
年代別・性別の回答者数／回答率

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	計
男性	3 (21.4%)	11 (22.0%)	53 (26.9%)	170 (42.3%)	170 (45.9%)	227 (58.1%)	126 (51.9%)	1 (100.0%)	761 (45.6%)
女性	0 (0.0%)	11 (11.8%)	94 (21.0%)	142 (29.6%)	116 (36.7%)	53 (46.9%)	17 (43.6%)	0 (0.0%)	433 (28.9%)
不明	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (30.0%)
計	3 (12.5%)	22 (15.3%)	147 (22.8%)	313 (35.4%)	286 (41.5%)	282 (55.6%)	143 (50.5%)	1 (100.0%)	1,197 (37.7%)

Q1 職人の優れた技による仕事(物、サービス)は、我々の生活や文化の豊かさに貢献していると思いますか。(単一選択)

n= 1,197

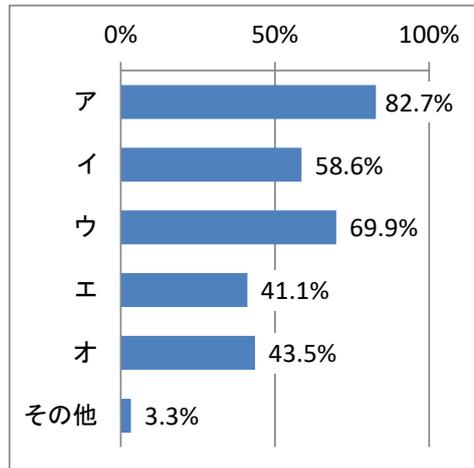
ア	大いに思う (⇒Q2へ)	74.5%	892
イ	やや思う (⇒Q2へ)	21.6%	259
ウ	あまり思わない (⇒Q3へ)	3.1%	37
エ	全く思わない (⇒Q3へ)	0.4%	5
無回答		0.3%	4
		100.0%	1,197



Q2 Q1で「ア 大いに思う」、「イ やや思う」を選択した方にお聞きます。どのような理由から貢献していると思いますか。
(複数選択可)

n= 1,151

ア	職人の仕事は作りがしっかり・きちりしているなど品質が信頼できるから	82.7%	952
イ	職人の仕事は大量生産のものにはない温もりや趣きを感じられるから	58.6%	675
ウ	職人の仕事は長年にわたり培われてきた伝統を感じられるから	69.9%	804
エ	職人の仕事は芸術性を感じられるから	41.1%	473
オ	職人の仕事はサステイナブル(持続可能)な生活の実現に資するから(使い捨てではなく良いものを長く使用する・環境や健康に優しい素材を使用するなど)	43.5%	501
その他		3.3%	38



その他(抜粋)

大量生産などの画一化されているものでは出来ない、個別のカスタマイズ(オーダーメイド等)やその人に合う商品(サービス)が実現できるから。

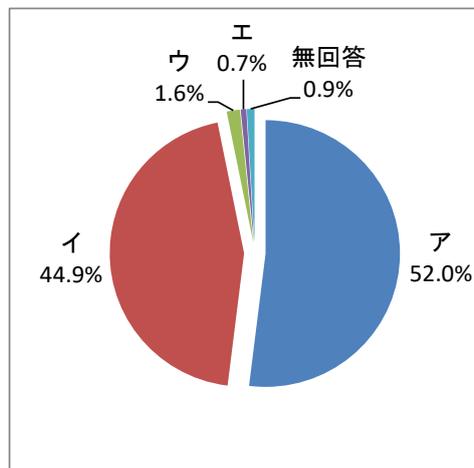
ものづくりやそのお仕事にかかる思いが、実際に私達に触れるものに反映されており、その技術の大切さを感じさせてくれるから。

個々の職人の技術の水準が保たれていることは製造業のものづくりレベルの基礎であり、国際的な競争力を維持していくことにおいても重要なことと思うから。

Q3 多くの職種で、職人の後継者不足が問題になっていることを知っていますか。
(単一選択)

n= 1,197

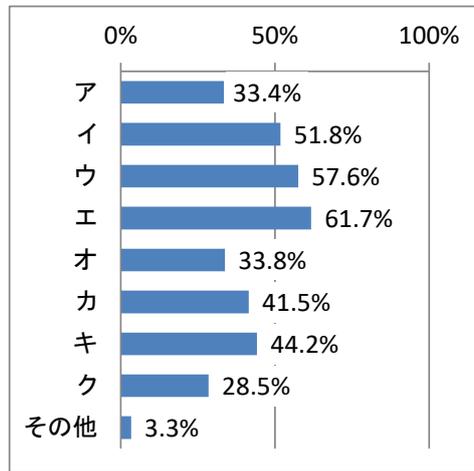
ア	よく知っている	52.0%	622
イ	あまり知らないが時々耳にする	44.9%	537
ウ	ほとんど聞いたことがない	1.6%	19
エ	まったく聞いたことがない	0.7%	8
無回答		0.9%	11
		100.0%	1,197



**Q4 職人の後継者が不足している原因は何だと思いますか。 ※「その他」を選択した方は(⇒Q6へ)
(複数選択可)**

n= 1,197

ア	仕事の面白さ・魅力が知られていないから (⇒Q6へ)	33.4%	400
イ	仕事がつらいというイメージがあるから (⇒Q6へ)	51.8%	620
ウ	徒弟制度の下で修業しないと職人になれないイメージがあるから (⇒Q6へ)	57.6%	689
エ	職人になるまでの時間が長くかかりそうだから (⇒Q6へ)	61.7%	739
オ	職人になるための具体的な就職の仕方がわからないから (⇒Q6へ)	33.8%	404
カ	儲からないというイメージがあるから (⇒Q6へ)	41.5%	497
キ	低賃金で長時間労働など古い働き方をしているイメージがあるから (⇒Q6へ)	44.2%	529
ク	将来が見通せないから (⇒Q5へ)	28.5%	341
その他		3.3%	40



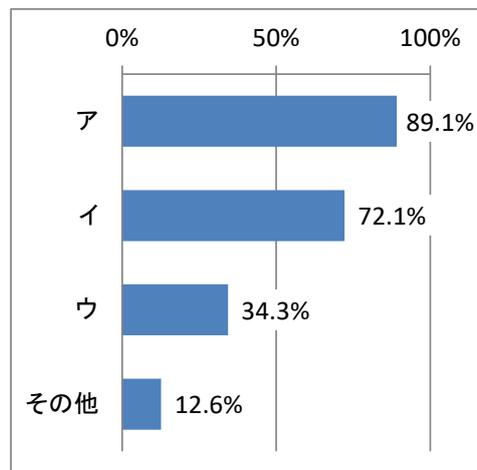
その他(抜粋)

そういう職種があること自体、知られていないから。
個人事業主であるため、営業、販売、経理など全てを一人で行わなければならないから。
技能を身に着けた職人に対する敬慕の念(リスペクト)が失われかけているような気がします。

**Q5 Q4で「ク 将来が見通せないから」を選択した方にお聞きします。そのように思うのはどうしてですか。
(複数選択可)**

n= 341

ア	機械による大量生産や広域的事業展開(チェーン店)による価格競争に勝てないから	89.1%	304
イ	日本人のライフスタイルの変化によりこれまでの職人仕事に対する需要が減ると思うから	72.1%	246
ウ	AIなどの機械に代替されると思うから	34.3%	117
その他		12.6%	43



その他(抜粋)

職人ならではの作業や商品に妥当な価格がつけられたとして、それを支払う価値があると認める人が増えるか(人々の価値観の変化)、また支払える人が多くいるような好景気にあるなど不確定要素が多いから。

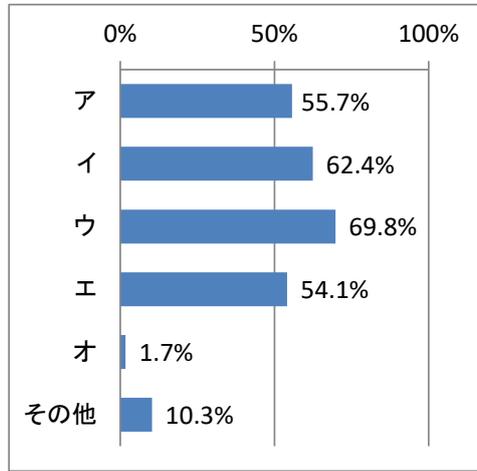
時代に合わせた商品(サービス)やブランディングなど、マーケティングや経営的な面が競合他社(量販店等)より弱いと思うから。

個人経営で保証がない仕事なので、老後も続けていけるかわからないため。

**Q6 後継者を確保し職人の技能を継承していくために、どのようなことに力を入れて取り組んでいけばよいと思いますか。
(複数選択可)**

n= 1,197

ア	職人や技能の魅力幅広く市民に伝える	55.7%	667
イ	職人や技能の魅力将来を担う子どもたちに伝える	62.4%	747
ウ	職業としての技能職の魅力や職人になるための具体的な就職の仕方を職業選択期にある若者に伝える	69.8%	835
エ	技能職団体による後継者確保に向けた取組を支援する	54.1%	648
オ	特に取り組んでいくことはない	1.7%	20
その他		10.3%	123



その他(抜粋)

職人の作ったものが正当な値段で私達の手に入る機会を増やして欲しい。儲かる職業になれば後継者も増えていくと思う。

職人の就労条件や賃金を改善し、職業選択時期にある若者だけでなく幅広い年代の無職の人にアピールしていく。

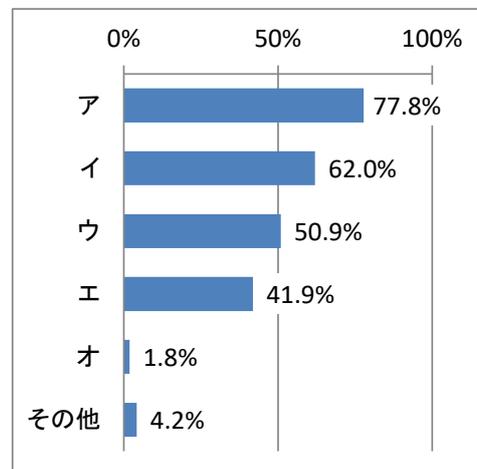
ドイツのマイスター制度を取り入れて、マイスター資格保持者の社会的地位を高めることが一番肝要である。マイスター制度は単に資格取得の問題ではなく、中学卒業までに自分がやりたいと思う進路を方向付ける非常に重要な社会制度なので、深く理解する必要がある。

大人が一回だけや好きな回数職業体験をできる場所、キッズニアのように子供が興味を持てるどころ、いくら稼げるかや習得するのにどれくらいかかるかなど具体的な数字が欲しいと思う。

**Q7 職業としての技能職の魅力は何だと思いますか。
(複数選択可)**

n= 1,197

ア	手に職をつけられる	77.8%	931
イ	仕事で創意工夫ができる	62.0%	742
ウ	技能の習得などを通じて「成長」できる環境がある	50.9%	609
エ	市民の生活・文化の豊かさに貢献するという社会的な意義がある	41.9%	501
オ	特に魅力があるとは思わない	1.8%	22
その他		4.2%	50



その他(抜粋)

自分の担当する専門分野を責任をもってやり遂げることができる。

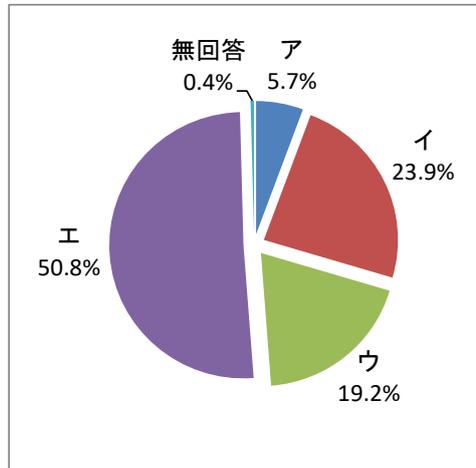
お客様を捕まえられたら、いつまでも仕事ができる。ライブイベントで途中止めても、やり直せる。

伝統を継承すること、また、新しい文化を生んで新しい伝統を作り出すこと。

Q8 市内の技能職者の拠点になっている「横浜市技能文化会館」(技能文化会館)を知っていますか。また、技能文化会館で開催される技能職に関する講座やイベントに参加したことがありますか。
(単一選択)

n= 1,197

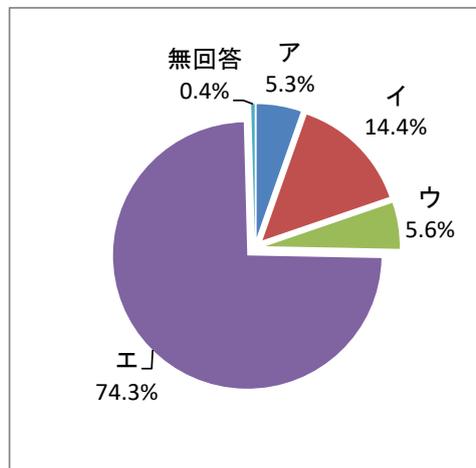
ア	技能文化会館を知っており講座等にも参加したことがある	5.7%	68
イ	技能文化会館を知っているが講座等に参加したことはない	23.9%	286
ウ	技能文化会館について聞いたことがあるが概要までは知らない	19.2%	230
エ	技能文化会館について聞いたことがない	50.8%	608
無回答		0.4%	5
		100.0%	1,197



Q9 市内の技能職団体が集まって設立されている「横浜市技能職団体連絡協議会」(技連協)を知っていますか。また、技連協の主催で毎年秋に開催される「よこはま技能まつり」に行ったことがありますか。
(単一選択)

n= 1,197

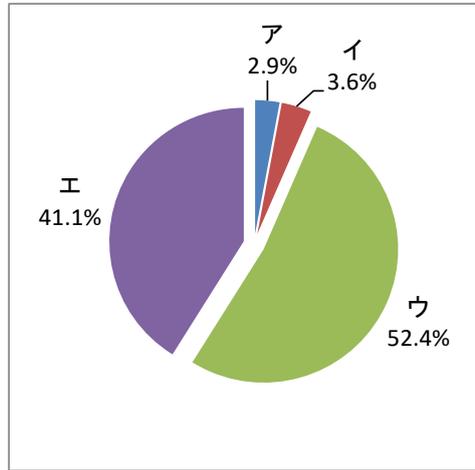
ア	技連協を知っており「よこはま技能まつり」にも行ったことがある	5.3%	64
イ	技連協を知っているが「よこはま技能まつり」に行ったことはない	14.4%	172
ウ	技連協について聞いたことがないが「よこはま技能まつり」に行ったことはある	5.6%	67
エ	技連協について聞いたことがなく「よこはま技能まつり」にも行ったこともない	74.3%	889
無回答		0.4%	5
		100.0%	1,197



Q10 市内の卓越した技能職者を横浜市が選定する「横浜マイスター」を知っていますか。また、横浜マイスターが講師を務める講座やイベントに参加したことがありますか
(単一選択)

n= 1,197

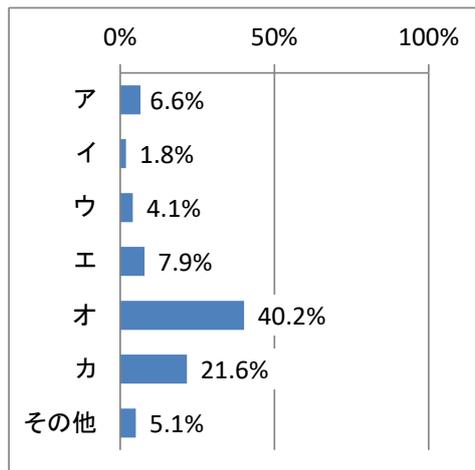
ア	「横浜マイスター」を知っており横浜マイスターが講師を務める講座にも自発的に参加したことがある (⇒Q11へ)	2.9%	35
イ	「横浜マイスター」を知っており偶々立ち寄ったイベントや学校の授業の一環として横浜マイスターによる講義や体験指導などを受けたことがある (⇒Q11へ)	3.6%	43
ウ	「横浜マイスター」のことを聞いたことはあるが、横浜マイスターが講師を務める講座に参加したことはない (⇒Q11へ)	52.4%	627
エ	「横浜マイスター」について聞いたことがない (⇒Q12へ)	41.1%	492
無回答		0.0%	0
		100.0%	1,197



Q11 「横浜マイスター」はどこで知りましたか。
(複数選択可)

n= 1,197

ア	横浜市の「横浜マイスター」のHP	6.6%	79
イ	「横浜マイスター」の紹介動画(YouTube等)	1.8%	22
ウ	横浜マイスター事業ガイドブック「ハマに技あり」	4.1%	49
エ	横浜マイスターが出展する各種イベント	7.9%	94
オ	広報よこはま	40.2%	481
カ	新聞やタウンニュース等の紙面	21.6%	259
その他		5.1%	61



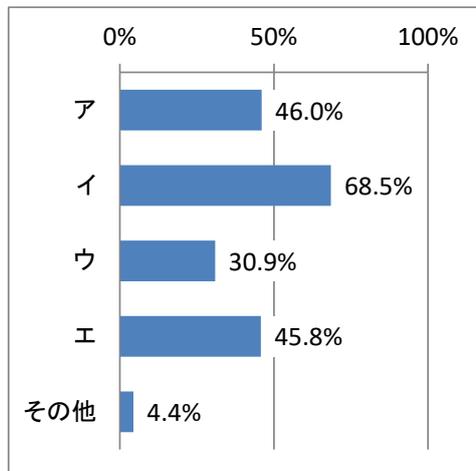
その他(抜粋)

テレビ
技能文化会館
横浜マイスターの店

**Q12 今後、「横浜マイスター」のどのような活動に関心がありますか。
(複数選択可)**

n= 1,197

ア	後継者育成のための講座・セミナー	46.0%	551
イ	技能の魅力を伝えるための体験教室	68.5%	820
ウ	YouTube等のSNSを使った技能披露の動画	30.9%	370
エ	横浜市技能文化会館や横浜市内の商業施設での技能体験	45.8%	548
その他		4.4%	53



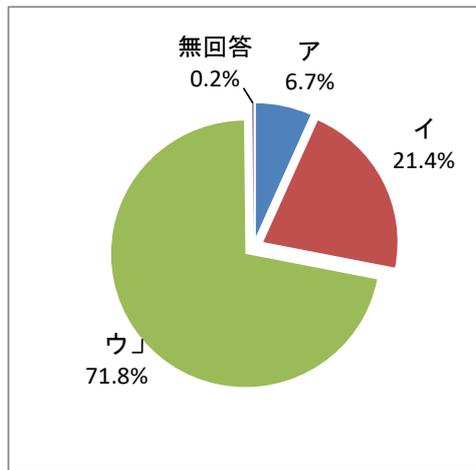
その他(抜粋)

マイスターの作成した製品の利用体験と購入機会。
横浜マイスターに仕事を発注できるスキームを作って欲しい。
どのような製品が作成されているか、技能があるかを知ることができる展示や販売。

**Q13 技能職に関する講座やイベント(Q8・Q9・Q10の講座やイベントを含む)に参加したことがありますか。
(単一選択)**

n= 1,197

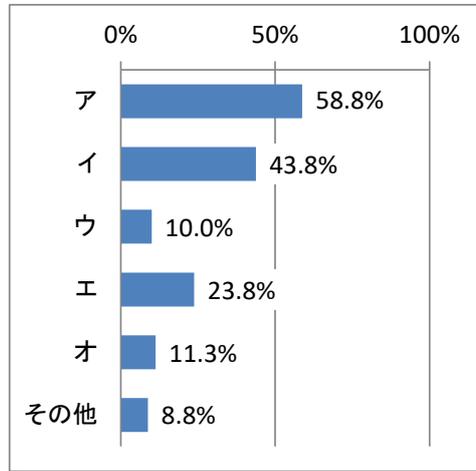
ア	参加したことがある (⇒Q14へ)	6.7%	80
イ	参加したことはないが参加してみたい (⇒Q15へ)	21.4%	256
ウ	参加したことはない (⇒Q15へ)	71.8%	859
無回答		0.2%	2
		100.0%	1,197



Q14 Q13で「ア 参加したことがある」と回答された方にお聞きます。そのようなイベント等に参加して、どのような影響を受けましたか。
(複数選択可)

n= 80

ア	職人に対する評価(職人に敬意を感じるようになったなど)	58.8%	47
イ	モノ・サービスの購入(値段が高くても、手づくりで質の高いものを選ぶようになったなど)	43.8%	35
ウ	職業の選択(職人になった、子どもに職人になるよう勧めたなど)	10.0%	8
エ	趣味選び(技能に関わる趣味を始めたなど)	23.8%	19
オ	特に影響は受けていない	11.3%	9
その他		8.8%	7



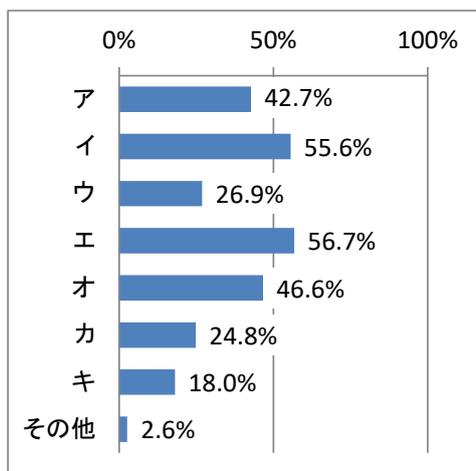
その他(抜粋)

元々技能に関して関心があり、卓越技能者を評価している。更にその思いを強くした。

Q15 今後、技能職に関するイベント等に参加するとしたら、どのようなものに関心がありますか。
(複数選択可)

n= 1,197

ア	技能の体験指導	42.7%	511
イ	技能の実演	55.6%	665
ウ	技能に関する講話	26.9%	322
エ	職人技で作られた製品の販売	56.7%	679
オ	工房ツアー	46.6%	558
カ	職業体験・弟子入り体験	24.8%	297
キ	職人技の動画の視聴	18.0%	216
その他		2.6%	31



その他(抜粋)

苦労ややりがい、仕事を選んだ理由などの体験談。

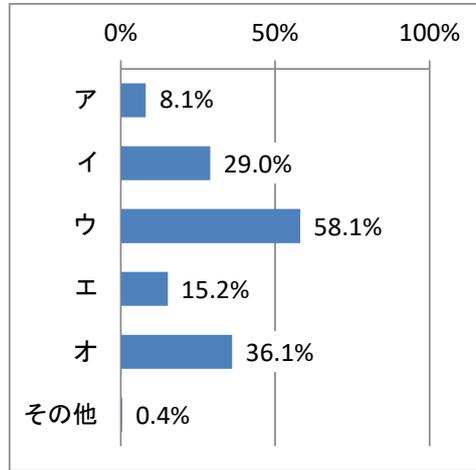
将来本当にその職業につくの想定して、修行期間、就職できる確率、いくら稼げて、どこで働けるのかなど具体的な話も必要。

技能者養成に対する援助、寄附。

Q16 開港期に遡る横浜独自の伝統技能があることを知っていますか。知っているものを選択してください。
(複数選択可)

n= 1,197

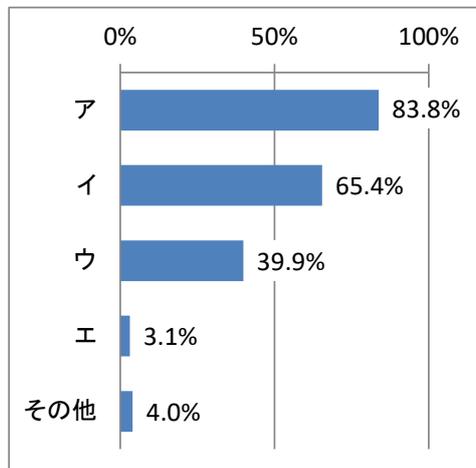
ア	横浜芝山漆器	8.1%	97
イ	横浜家具	29.0%	347
ウ	横浜スカーフ	58.1%	696
エ	横浜真葛焼	15.2%	182
オ	知らない	36.1%	432
その他		0.4%	5



Q17 横浜独自の伝統技能をどのように残していくとよいと思いますか。
(複数選択可)

n= 1,197

ア	後継者の育成・確保	83.8%	1,003
イ	作品の販売促進のためのプロモーション	65.4%	783
ウ	技能・作品のアーカイブ化(デジタル技術によるものを含む。)	39.9%	478
エ	特別な取組は必要ない	3.1%	37
その他		4.0%	48



その他(抜粋)

市民の目に触れる機会を増やす。美術館、役所、商店街、駅、レストラン、などに作品を置くなど。
商業ベースとして流通ルートにのせられるよう、商品企画、宣伝、販売を上手にやっていく。クラウドファンディングで売り込みをかけていく。
これまでの伝統を守るとともに、今の生活スタイルにあわせたカタチにしていく方法を考える。

(抜粋)

職人の仕事は丁寧で長持ちするものが多い。畳、ちゃぶ台や和服などで感心させられる。後継者を育ててほしい。
伝統技能は文化・芸術の分野である。技能振興は職業の分野である。混在して書かれています。とにかく、職人不足というのは感じる人が多い。大工さん、経師屋さん、土工事、ペンキ屋さん、電気屋さん、畳屋さんなど台風のと修繕を依頼するところがない。昨年の15号台風の際は心底困った。職人さんの維持は大切です。
職人になりたいと考えたことがある人は多いと思う。ただ現実的にその仕事に就いて暮らしていけるのか不透明であるし、そもそもどうしたらその職業に就けるのか方法がわからない。職人にインターン制度があってもいいと思う。
人が集まらない理由は大きく4つあると思う。(1)そういう職業があることを知らない。(2)儲かると思えない。(3)修業期間が長い。(4)工場での大量生産品との違いが判らない。これらを払拭できる仕組みが必要だと思う。
横浜マイスターをもっと推してPRしていけたら、技能職に関心を持つ方がもっと増えると思います。もっと若かったら修行にいきたかったくらいです。マイスターまつりで体験させていただいたアイロンかけや見学した剪定ばさみの使い方などほんの少しのアドバイスで素人の技術がアップしたのは本当にすごいと思いました。
ふるさと納税の返礼品に加える
小学生向けのイベントで、技能文化会館で子供が技術体験をさせてもらった。中学生や高校生が、自分の将来の選択肢として見たり体験出来たりする機会がもっとあればいいと思う。横浜市の物と限定せず、今後の日本の伝統技術を残すために、中高生向けのキッズニアのような体験施設があればいいのと思う。
本気で技能に向き合う若者を見つけることが第一だと思います。とても難しいことですが、向いていると思う人がいたら経済的支援も含めてバックアップしていただきたいと思います。
伝統を絶やさない取り組みは大事と思う。以前に比べたら、その重要性が見直されて来ている様に感じる。
様々なかたちでのPRを通して、横浜の伝統技能を広く知らせてほしい。
このアンケートに答えるまで技能職という道もあるということに全く思いつきませんでした。これから新たに職に就くすべての人々に選択肢としてそういった道もあるということに気付けるよう、新卒向けのフェアの開催やハローワークと連携してイベントをやるなどしてみてもいいかなと思いました。
中高生が進路選択をする際に、選択肢の一つとして技能職人を選べるようにする仕組みがあれば良いのでは？ 高校や大学に行きながら、技能を身につけるとかできれば、可能性も広がるように思います。